

12月23日(金)現在

本県の新型コロナウイルスの感染状況は  
国評価レベル3(医療負荷増大期)です

## 「医療ひっ迫警報」を発令します!

感染再拡大警報発令中

一人ひとりが**感染しない・させない**取組【**自助**】と  
みんなで**拡げない**取組【**共助**】を徹底するようお願いします

新型コロナの1週間の**新規感染者数は増加が続いて**おり、県民の皆様には感染対策等についてより一層注意喚起するため、「**感染再拡大警報**」を発令しています。

また、病床の利用率が60%を超えていることに加え、コロナ受入れ病院における医療従事者の感染等による休職や救急搬送困難事案の増加により、本県の**医療提供体制はひっ迫が強まっている**ことから国評価レベルを3に引き上げるとともに、「**医療ひっ迫警報**」を発令します。

県民の皆様には、感染リスクの高い行動を控える等の以下の「**5つのお願い**」に対し、**ご協力**を求めます。

12月22日現在

入院患者数 A	病床数 B	病床利用率 A/B
639人	954床 <sup>※1</sup>	67.0%
	727床 <sup>※2</sup>	<b>87.9%</b>

※1 即応病床数(コロナ確保病床以外の病床数を含む)

※2 コロナ確保病床数

直近1週間の10万人当たり 新規陽性者数
810.9人

### 5つのお願い

#### ①ワクチンの早期接種

この2年間流行のなかったインフルエンザの患者も徐々に増加しており、今冬は、新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されます。感染及び重症化を予防するため、ワクチン接種が可能な方は、**新型コロナとインフルエンザのワクチンの接種**をお願いします。

#### ②医療機関への適切な受診

事前に市販の解熱鎮痛剤、風邪薬、コロナ検査キットを家庭に常備し、**症状が軽く重症化リスクの低い方は、医療機関を受診せず、自宅での療養**をお願いします。また、自宅療養に備えて**食べ物や飲み物の備蓄**もお願いします。

#### ③感染リスクの高い外出の控え

ご自身で「自分は重症化リスクがある」と判断されている方、重症化リスクがある人と接する機会のある方、仕事や家庭の事情でできる限り感染を避けたい方、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は、**混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は極力控え**、外出する場合であっても、**大人数での行動を避けてください**。外出する場合は、**マスク着用を徹底し、密集した場所や換気の悪い場所での飲食や大声での会話は控える**ようお願いします。

#### ④会話や食事の際の適切なマスク着用

**マスクを外しての会話や食事は同居する家族とのみ**行っただき、家族以外の方とは、必ずマスク着用で会話し、会食では**マスク会食**を確実に行うようお願いします。なるべく大人数・長時間の会話や飲食は避けるようお願いします。

#### ⑤十分な換気の実施

感染力の強いオミクロン株に対して、換気は大変重要で効果が期待されます。冬場は暖房器具の使用のため、窓を閉め切りがちになりますが、**室内温度に留意しながら、定期的に窓を開け換気を行う**ようお願いします。

## ○オミクロン株対応2価ワクチンの接種

- ・現在実施中のオミクロン株対応2価ワクチンの接種は、オミクロン株に対し、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果とともに、感染予防効果や発症予防効果も期待されています。
- ・この2年間、年末年始に感染が流行しています。接種券が届き次第、接種することをご検討ください。
- ・なお、県の大規模接種会場（もくせい会館等）でも、2価ワクチンの接種を実施していますので、ぜひご利用ください。

県の大規模接種会場の  
情報はこちら



## ○適切な受診

- ・緊急に診療が必要となる救急医療が滞ることがないように、夜間・休日は、軽いかぜ症状だけの場合は、受診を控え、平日の日中にかかりつけ医など地域の医療機関を受診してください。

（お子さんの症状が気になる場合は、必要に応じて、#8000（静岡こども救急電話相談）をご利用ください。）

## ○マスクの着用の徹底

- ・飲食の際にはマスクを外しての会話は同居する家族のみの場合とし、それ以外の方とは食べる時は会話をせず、会話する時は、必ず不織布マスクを着用するようお願いします。
- ・特に多人数、長時間の会話では、お互いに不織布マスクの着用を徹底してください。こまめな換気を行わない場合には、BA.5の感染力の強さから感染リスクが高まります。
- ・「屋外では、まわりに人がいなければマスクは不要」、「就学前の子どもは、マスクは原則不要」です。適切なマスクの着脱ができるよう、常時、マスクの携行をお願いします。



## ○旅行や帰省の際の注意

- ・年末年始は旅行や帰省など、全国的に外出の機会が増加しますが、混雑した場所や換気の悪い場所、大勢の人が密集する場所への外出、重症化リスクの高い人がいる場所への訪問は極力控えるようお願いします。
- ・移動先では、マスク着用や手指消毒、室内換気を徹底するとともに、会話や食事の際には節度を持って行動するようお願いします。
- ・旅行や帰省では、普段生活を共にしていない方や、高齢の親族等と接する機会が多くなりますので、事前の検査やワクチン接種を行ってから外出するようお願いします。また、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は外出を取りやめるようお願いします。



## ○イベント(催事)への参加の際の注意

- ・イベント(催事)に参加する場合は、マスクの着用を徹底するとともに、事前に検査やワクチン接種を行ってから参加するようお願いします。また、発熱やのどの痛み等の自覚症状のある方は参加を取りやめるようお願いします。
- ・大勢の人が密集したり、大声をあげるイベントへの参加は、特に慎重に判断してください。





国評価レベルの判断基準

令和4年12月16日 改定

国評価 レベル	状況(国の例示等)				本県の 指標と目安値
	保健医療の負荷	最大確保 病床使用率	社会経済 活動	(参考) 感染状況	
4 医療機能 不全期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱外来や救急外来で対応しきれず、一般の外来にも患者が殺到</li> <li>通常医療も含めた外来 医療全体がひっ迫し、機能不全の状態</li> <li>入院が必要な中等症・重症者の絶対数が著しく増加。医療従事者の欠勤と相まって、入院医療がひっ迫</li> <li>入院できずに、自宅療養中に死亡する者が多数発生</li> <li>通常医療を大きく制限せざるを得ない状態(重点医療機関における医療従事者の欠勤急増)</li> </ul>	病床使用率 重症病床使用率 概ね 80%以上	欠勤者が膨大な数になり、社会インフラの維持にも支障が生じる可能性	今冬の新型コロナウイルス感染者の想定を超える膨大な数の感染者が発生	【感染状況】及び【保健医療の負荷の状況】 今後の感染状況等を踏まえ設定  【社会経済活動の状況】 県内の複数の公共交通機関において、新型コロナの影響で従業員が欠勤したことによる減便が生じた場合
3 医療負荷 増大期	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来医療の負荷が高まり、発熱外来や救急外来の多くに患者が殺到する、重症化リスクの高い方がすぐに受診できないという事象が発生</li> <li>救急搬送困難事例の急増</li> <li>入院患者も増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる(重点医療機関における医療従事者の欠勤急増)</li> </ul>	病床使用率 重症病床使用率 概ね 50%以上	職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者も多数発生	医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生	【感染状況】 (2⇒3への移行) 1週間新規感染者数の前週比1.0倍以上が継続  【保健医療の負荷の状況】 ①コロナ受入病院入院者 400人以上 ②病床使用率 (最大確保病床に対して) 50% ③コロナ受入病院の医師・看護師休職者数 300人 ④発熱外来の行政検査数 21,000件/週 ⑤救急搬送困難事案件数 40件/週  【社会経済活動の状況】 具体的な目安値等は設定せず個別に判断
2 感染拡大 初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療・発熱外来の患者数が急増し、負荷が高まり始める</li> <li>救急外来の受診者数も増加</li> <li>病床使用率、医療従事者の欠勤者数も上昇傾向</li> </ul>	病床使用率 概ね 30~50%	職場で欠勤者が増加し始め、業務継続に支障が生じる事業者も出始める	感染者が急速に増え始める	【今後の感染状況等を踏まえ設定】
1 感染 小康期	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来医療、入院医療ともに負荷は小さい</li> </ul>	病床使用率 概ね 0~30%	—	感染者は低位で推移、又は徐々に増加している状態	—